

ISO14001内部監査チェックリスト(サンプル)

<http://www.iso-mi.com/>

記入者	確認(承認)
2017.00.00	2017.00.00
〇〇	〇〇

評価結果は適合、不適合、観察事項とします。 ●は被監査対象

規格要求事項	チェック内容	確認した文書 及び記録	環境管理 責任者(経営層)	営業 部門	製造 部門	管理 部門	コメント	評価結果 (適合、不 適合、観 察)
4 組織の状況	4.1 組織及びその状況の理解	確認事項 □外部及び内部の課題を決定し、明確化しているか □課題には、組織が受ける環境状態(気候や土地の利用等の状況)を含めて考慮しているか □課題には、具体的にどんなものがあるか □また、それらは、どのように、監視し、レビューしているか	●					
	4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解	確認事項 □利害関係者は誰か、不足はないか □利害関係者のニーズ及び期待は、具体的にどのようなものがあるか □また、具体的にどのように、対応しているのか □それらは、どのように、監視し、レビューしているか。	●					
	4.3 環境マネジメントシステムの適用範囲の決定	確認事項 □以下の事項を考慮して適用範囲を決めているか 1) 4.1に規定する外部及び内部の課題 2) 4.2に規定する順守義務 3) 組織の単位、機能及び物理的境界 4) 組織の活動、製品及びサービス 5) 管理し影響を及ぼす、組織の権限及び能力	●					
5 リーダーシップ	5.1 リーダーシップ及びコミットメント	確認事項 □経営層は以下の事項をどのように実施しているか 1)環境マネジメントシステムの有効性に説明責任を負う。 2)環境方針及び環境目標を確立し、それらが組織の戦略的な方向性及び組織の状況と両立することを確実にする。 3)組織の事業プロセスへの環境マネジメントシステム要求事項の統合を確実にする。 4)環境マネジメントシステムに必要な資源が利用可能であることを確実にする。 5)有効な環境マネジメント及び環境マネジメントシステム要求事項への適合の重要性を伝達する。 6)環境マネジメントシステムがその意図した結果を達成することを確実にする。 7)環境マネジメントシステムの有効性に寄与するよう人々を積極的に参加させ、指揮し、支援する。 8)継続的改善を促進する。 9)その他の関連する管理層がその責任の領域においてリーダーシップを実証するよう、管理層の役割を支援する。	●					
	5.2 方針	確認事項 □環境方針は、組織や状況の変化を考慮して見直しをしているか □環境方針には、環境保護に対するコミットメントは含まれているか □また、必要に応じて、利害関係者が入手可能であるか	●					
6 計画	6.1 リスク及び機会への取り組み 6.1.1 一般	確認事項 □どのようなものをリスク及び機会として、決定しているか □緊急事態は、潜在的なもの(台風、地震等の自然災害等)を含めて決定しているか	●					
	6.1.2 環境側面	確認事項 □ライフサイクルの視点で環境影響を特定しているか □著しい環境側面を決定するために用いた基準は何か □著しい環境側面は、どんなものを特定しているか	●					
	6.1.2 順守義務	確認事項 □決定した順守義務はどのようなものか □順守義務を組織にどのように適用しているのか(誰が、いつ、どのようにするか)	●					
	6.2 環境目標及びそれを達成するための計画策定	確認事項 □設定した環境目標は、以下の事項を考慮しているか 1)環境方針と整合している。 2)測定可能である。 3)監視する。 4)伝達する。 5)必要に応じて、更新する。			●	●	●	

規格要求事項		チェック内容		確認した文書 及び記録	環境 管理 責任者 (経営層)	営業 部門	製造 部門	管理 部門	コメント	評価結果 (適合、不 適合、観 察)
		確認事項	□環境目標をどのように達成するのかについて、実施事項、必要な経営資源、責任者、完了時期、評価方法は、5W1Hで計画されているか			●	●	●		
9 パフォーマンス評価	9.1 監視、測定、分析及び評価 9.1.1 一般	確認事項	□分析及び評価には、どのようなものがあるか。また、結果は、どんなものか □環境マネジメントシステムのパフォーマンスの有効性はどのようにして、評価しているか □環境パフォーマンス情報について、どのようにして、コミュニケーションを行っているか		●					
	9.1.2 順守評価	確認事項	□順守評価の結果には、どのようなものがあるか。また、結果は、どんなものか					●		
		確認事項	□順守評価は、どのようにして頻度を決定しているか					●		
	9.2 内部監査	確認事項	□監査プログラムの策定において、以下は考慮されているか 1) 関連するプロセスの環境上の重要性 2) 組織に影響を及ぼす変更 3) 前回までの監査結果		●					
	9.3 マネジメントレビュー	確認事項	□マネジメントレビューのインプットは、以下を考慮するものであるか 1) 前回までのマネジメントレビューの結果とった処置の状況 2) 環境マネジメントシステム(EMS)に関連する外部及び内部の課題 3) 順守義務を含む、利害関係者のニーズ及び期待 4) 著しい環境側面 5) リスク及び機会 6) 環境目標が達成された程度 7) 不適合及び是正処置 8) 監視及び測定の結果 9) 順守義務を満了すること(法令順守状況) 10) 監査結果 11) 経営資源の妥当性 12) 苦情を含む、利害関係者からの関連するコミュニケーション 13) 継続的改善の機会		●					
		確認事項	□マネジメントレビューのアウトプットは、以下を考慮するものであるか 1) 環境マネジメントシステムが、引き続き、適切、妥当かつ有効であることに関する結論 2) 継続的改善の機会に関する決定 3) 資源を含む、環境マネジメントシステムの変更の必要性に関する決定 4) 必要な場合には、環境目標が達成されていない場合の処置 5) 必要な場合には、他の事業プロセスへの環境マネジメントシステムの統合を改善するための機会 6) 組織の戦略的な方向性に関する示唆		●					
10 改善	10.1 一般 10.2 不適合及び是正処置	確認事項	□不適合に該当する場合には、以下の事項を行っているか 1) その不適合を管理し、修正するための処置をとる 2) その不適合によって起こった結果に対処する			●	●	●		
		確認事項	□不適合に該当する場合には、以下の事項を行っているか 1) その不適合のレビュー 2) その不適合の原因の明確化 3) 類似の不適合の有無又はそれが発生する可能性の明確化			●	●	●		
		確認事項	□必要な処置を実施しているか			●	●	●		
		確認事項	□是正処置の有効性をどのようにして、レビューしているか			●	●	●		
	10.3 継続的改善	確認事項	□環境マネジメントシステムの適切性、妥当性及び有効性をどのようにして、改善しているか		●	●	●			